

校長室より

令和 7年 3月14日
校長 植 野 博 之



春の蕾が膨らみ始める季節となりました。春は別れと出会いの季節です。
和歌山盲学校では、3月7日（金）高等部卒業式、3月12日（水）中学部卒業式が実施されました。

高等部卒業式

3月7日（金）高等部〔高等部普通科・高等部本科保健理療科・高等部専攻科（理療科・保健理療科）〕卒業式が、行われました。

令和6年度の卒業生は、高等部本科普通科3年生2名、本科保健理療科1名、高等部専攻科理療科1名、専攻科保健理療科2名の計6名です。今年は例年より多くの卒業生が本校を卒業しました。

卒業式というのは人生の中でも大変大きな節目です。今までのステージから次のステージへ進みます。高等部卒業生は福祉事業所や就職、進学等へそれぞれの道を歩みます。保健理療科・理療科の生徒は、あんま・マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格をとるために2月末に国家試験を受験しました。大変難しい試験ですが、生徒達も全力で試験に臨みました。

普通科の生徒の中には、幼稚部から本校で15年近く過ごした生徒もあり、生徒にとっても保護者にとっても思い出いっぱい詰まった卒業式でした。

後輩達からも「先輩達がいなくなるととてもさみしい。」と慕われ、とても面倒見のよい先輩達でした。

それぞれが、自分の人生の主人公となり、様々な壁にぶつかろうともゴールはハッピーエンドな人生に決まってる信じ、それぞれの道へ向け歩いてほしいと思います。学校生活で学んだ力を糧に新しい世界での活躍を期待しています。



中学部卒業式

3月12日（水）中学部の卒業式が行われました。

今年度は中学部卒業生は1名でした。

答辞では、中学部での思い出をしっかりと式場のみんなに伝えました。

最後に素敵な歌声で贈る歌を卒業生、在校生一緒に歌いました。

この3年間、先生達との関係性を軸に、自分でしっかり考え、自分で最後までやり抜く力をつけてきました。マラソンでは大変長い距離を走れるようになりました。

4月から本校高等部でのさらなる活躍を楽しみにしています。

